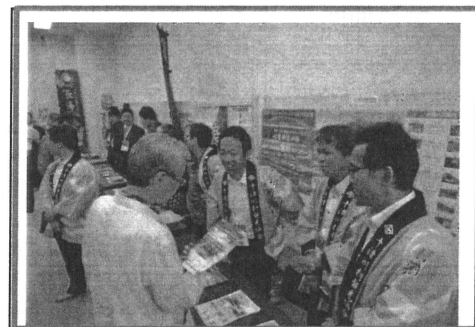


平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「源泉かけ流し全国温泉サミット」開催事業
事業主体 (連絡先)	野沢温泉源泉かけ流しの会 (野沢温泉旅館ホテル事業協同組合内 0269-85-2020)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,217,374 円 (うち支援金: 747,000 円)

事業内容

- ① 第12回源泉かけ流し温泉全国サミットの主管として大会を開催することにより、当地及び源泉かけ流し温泉の観光資源としての価値や特性への理解を深める。
- ② 広く村民を含めた一般公開の講演会を設け、源泉かけ流し温泉に関する行政や科学者、旅行販売者からの意見や最新の知見を地域全体で深めた。
- ③ マスコミを広く招待し、単なる大会の取材に終わることなく深く温泉・源泉かけ流し温泉の特性や商品価値をPRした。



【サミット会場の様子】

【目標・ねらい】

- ① 大会の開催・成功
- ② 専門的立場からの意見交換
- ③ マスコミへのPR
- ④ 会員相互の情報交換

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

大会は成功裏に終わらせる事が出来た。
 北海道上士幌町長・野沢温泉村長・大分県竹田市長による行政から見た温泉による地域活性化の可能性、温泉研究を進める大学教授による科学的な知見、旅行情報提供者による販路拡大の可能性など広く意見を聞く事が出来た。
 大会前日からマスコミ各社を招待し、温泉に関する情報交換や正しい知識での報道・広報をお願いした。

※自己評価【A】

【理由】
 大会参加者・マスコミ各社の反応は良く、大会の企画・運営に対して良い評価を戴いた。引き続いてのマスコミ取材もあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

源泉かけ流し温泉を観光資源として活かしていく事の有意性(優位性)は確認できた。また、新たなマスコミとの関係も築く事が出来た。今後はこの大会開催を契機に引き続き温泉のPRと地域活性化に努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある